

医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	みはま病院
研究課題名 (研究番号)	Retrograde Intrarenal Surgery (RIRS) 後有熱性尿路感染症リスク分類導入の臨床的効果の検討 (26 - 007)
当会の研究責任者 (所属)	宮富良穂 (みはま病院 泌尿器科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	retrograde intrarenal surgery (逆行性腎内手術：RIRS) 後の有熱性尿路感染症 (fUTI) 及び敗血症は注意を要する合併症です。 我々はこれまでに既報や当院症例の解析に基づいて、RIRS後fUTIリスク分類 (以下リスク分類) を作成し運用しています。 そこで作成したリスク分類導入後の臨床的効果について比較・検討したいと考えます。
調査データ 該当期間	2017年1月1日～2026年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	診療録を用いて2017年1月1日から2026年3月31日までに当院で施行した755件のRIRS患者さんを対象とし、リスク分類導入前 (前期) 502件と導入後 (後期) 253件に分けて発熱率を明らかにし、年齢、性別、糖尿病または免疫抑制剤使用、全身状態、尿培養結果、結石性腎盂腎炎の有無、主たる既往症、結石部位、結石径、嵌頓結石、術前抗菌薬使用、prestentingの有無、術者経験、尿管アクセスシース (径・長さ・種類)、軟性尿管鏡、手術時間、発熱、腎盂尿管損傷の有無、stone freeかどうかを検討します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	患者さん名は登録した際、番号化し、実名などは、わからないようにします。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。利益相反はありません。
お問い合わせ先	誠仁会 みはま病院 宮富良穂 電話： 043-271-2200